

講義名	芸術事業論			授業形態	
担当教員	相澤 孝司	開講期・曜日・時限	前期 水曜日 3時限		
		単位数	2	履修開始年次	2年生

主題と概要

本講義では、事業活動や経済活動を実施する時に、芸術がどのような存在意義をもつのか、具体例をまじえながら解説していきます。芸術活動は、経済や社会から一見かけ離れたところにあり、特殊な活動のように思われがちですが、実は極めて重要な要素であり、むしろ事業活動の中心になることが理解されるでしょう。しかし、芸術は知識として理解するのは難しく、自身の感性の中に育てる心が必要です。たぶん学生のみさんの中には、すでに持っていると考えられますが、本講義を受講して興味を持って育てて下さい。芸術性のある事業のあり方を学習し、「デザイン」についても正しく理解しましょう。

到達目標

1. デザインの発生を歴史から学習し、デザインと事業活動や経済活動が深く結びついていることが説明できる。
2. 芸術とデザインに関心をもち、積極的に展覧会やアートイベントなどに出向き、自分自身の感性を磨けるようになる。
3. 観光産業とデザイン及び芸術との関係は特に深く、直接的なつながりも多くなることを理解できる。
4. デザインの発想法を学び、企画・商品開発などにつながるアイデアの提案や展開が出来る様になる。
5. 対面による指導のもと簡単な方法で立体物を描く方法を学習し、企画会議・アイデアの内容などコミュニケーションの幅を広げることが出来る。

提出課題

特になし

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

中間レポートの解答者から約10点程度選択して次の授業以降で内容を紹介します。

評価の基準

評価は、中間レポート及びレポート試験を主な評価基準とします。第7回目の中間レポートでは、デザインについての理解度を確認することを評価の基準とし、第6回目頃からレポートの課題を告知します。最終のレポート試験では、地域社会のデザインに関連する課題を提示します。その内容の投入方や視点等を基準にして、本講義における芸術やデザインについての理解度及びの地域社会への展開方法の発見などを総合的に評価します。

履修にあたっての注意・助言他

デザイン・芸術に関する予備知識がなくても受講できます。また、積み上げ形式の授業ではなく特に履修する学年を問いません。授業は、毎回オリジナルのプリントを資料配布して、関連したスライド及びDVDなどを用いてビジュアルを中心に解説します。

教科書

.使用なし。

参考図書

.なし。

その他

「日本デザイン史」 森山明子 美術出版社
「世界デザイン史」 阿部公正 美術出版社

授業計画

1. 芸術事業論の考え方、授業内容の解説及び評価方法
予習内容：シラバス授業計画の2-15回の授業を参考にして、デザインのキーワードから興味のある対象を調査して出席すること（120分）復習内容：講義中の芸術及びデザインについての質問を再度整理・復習して授業の理解を深めること（120分）
2. 環境芸術について「六甲ミーツアート」の事例紹介、地域活性化とアートプロジェクトの解説。予習内容：「六甲ミーツアート」の内容をインターネットや図書館で調査してください。（120分）復習内容：授業の中で重要なキーワードを提示しますので、自身でも説明出来る様にしてください。（120分）
3. 都市空間と芸術について・神戸における夜祭とは「1000万ドルの夜祭について」予習内容：神戸の「夜祭」についてインターネットや図書館で調査してください。（120分）復習内容：授業の中で重要なキーワードを提示しますので、自身でも説明出来る様にしてください。（120分）
4. 色彩みる芸術について・カラーデザインの事例紹介「船体のカラーデザインと自立つば」予習内容：「神戸の街中の色」についてインターネットや図書館で調査してください。（120分）復習内容：授業の中で重要なキーワードを提示しますので、自身でも説明出来る様にしてください。（120分）
5. 芸術と技術・デザインの発生、デザインとは予習内容：「産業革命」についてインターネットや図書館で調査してください。（120分）復習内容：授業の中で重要なキーワードを提示しますので、自身でも説明出来る様にしてください。（120分）
6. 日本のデザインを考える。デザインと産業について、「グッドデザイン」とは！予習内容：「グッドデザイン」についてインターネットや図書館で調査してください。（120分）復習内容：授業の中で重要なキーワードを提示しますので、自身でも説明出来る様にしてください。（120分）
7. 中間レポート「グッドデザイン」を探せ予習内容：「身近な生活の場からグッドデザイン」発見してインターネットや図書館で調査してください。（120分）復習内容：レポートの内容を再度確認して、なぜそれがグッドデザインなのか自身でも説明出来る様にしてください。（120分）
8. 日本のデザインを考える。デザインと照明について予習内容：「照明」についてインターネットや図書館で調査してください。（120分）復習内容：授業の中で重要なキーワードを提示しますので、自身でも説明出来る様にしてください。（120分）
9. 日本のデザインを考える。デザインと環境について予習内容：「学園都市・三宮の照明」についてインターネットや図書館で調査してください。（120分）復習内容：授業の中で重要なキーワードを提示しますので、自身でも説明出来る様にしてください。（120分）
10. 世界のデザイン「イタリアと北欧のデザイン」予習内容：「イタリアと北欧」について（特に家具と建築など）インターネットや図書館で調査してください。（120分）復習内容：授業の中で重要なキーワードを提示しますので、自身でも説明出来る様にしてください。（120分）
11. イベントと芸術について・博覧会みるデザインと芸術予習内容：「クリスマスマーケット」についてインターネットや図書館で調査してください。（120分）復習内容：授業の中で重要なキーワードを提示しますので、自身でも説明出来る様にしてください。（120分）
12. 芸術事業のあり方「デザインと発想法」商品企画などに役立つアイデアのヒント予習内容：「発想法」についてインターネットや図書館で調査してください。（120分）復習内容：授業の中で興味を持った発想法を自身でも説明出来る様にしてください。（120分）
13. 芸術事業のあり方「イサム・ノグチ」についてインターネットや図書館で調査してください。（120分）復習内容：授業で作品を提示しますので、興味ある作品について説明出来る様にしてください。（120分）
14. 芸術事業のあり方「レイナルド・ダ・センチ」について考える予習内容：「レイナルド・ダ・センチ」についてインターネットや図書館で調査してください。（120分）復習内容：授業で作品を提示しますので、興味ある作品について説明出来る様にしてください。（120分）

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

観光事業における芸術及びデザインを理解することで（1）デザインの発生を歴史から学習し、デザインと事業活動や経済活動が深く結びついていることが説明できる。（2）芸術とデザインに関心をもち、積極的に展覧会やアートイベントなどに出向き、自分自身の感性を磨けるようになる。（3）観光産業とデザイン及び芸術との関係は特に深く、直接的なつながりも多くなることを理解できるなどのキャリア形成過程の芸術・デザインの基礎知識として有効となる。また、観光産業における芸術・デザイン知識は、商品企画などのアイデアの展開に活かされる。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

「家務経験あり」照明器具メーカーのデザイナーとして多数のデザインの実績があります。また、地域イベントのプロデューサーおよびアートディレクターなども経験しており、本講義内で具体的な事例をまじえて解説します。

備考